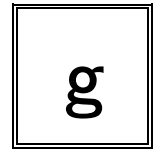


平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号



男子 ・ 女子 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 スカイホール豊田 Aコート

<u>白梅学園</u>		<u>12</u>	<u>8</u>		<u>15</u>	<u>小松市立</u>
チーム名	総得点	6	7	7mTC	総得点	チーム名

女子決勝、激戦を勝ち抜いた白梅学園と小松市立の一戦は、白梅学園のスローオフで始まった。先制したのは白梅学園。7番脇田のポストからのシュートが決まる。この後、ポストを織り交ぜた速いテンポのパス回しから、サイド・ポストと外と内から小松市立のDFを切り崩した。この間、小松市立も3番渡部を中心にシュートを放つも、白梅学園の4:2DFに阻まれ、苦しい形に追い込まれ、思うように得点できない。前半20分までに10-3と点差が広がった。しかし、この後3番渡部のシュートが決まると、小松市立のエンジンがかかり始めた。DFでは要所で守り抜き、白梅学園のOFの勢いを止め、OFでは一挙に4得点し、流れを引き寄せた。ここで前半が終了し、12-8で折り返した。後半の序盤は、流れをそのままに小松市立のペースで進んだ。しかし、白梅学園もこのままでは終わらない。後半7分過ぎ、2番橋爪が立て続けにシュートを決めると、そのまま4連取し、16-9となり小松市立がタイムアウトを取った。このタイムアウトにより、また流れが変わった。小松市立3番渡部・5番大和のシュートが決まり4連取で16-14と追いつける。26分過ぎ、白梅学園が1点を返したところで、小松市立は最後のタイムアウトを取り、すべては選手に託された。この後、両チーム一歩も譲らない攻防を繰り広げ、ついに終了のときを迎えた。18-15で、白梅学園が頂点に登りつめ、初優勝を飾った。